

◇ノートを使う際にどのような使い方や発展的な活動が可能なのか検討しました。

・学習ノート P59 住まいの役割を知り、住まいの空間の使い方について考えてみよう！

・学習ノートで、住まいの役割やシールを貼りながら、空間と生活行為のつながりを学ぶ。

その上で、自分の住まいや住まいの広告の見取り図を持ってくるようにして、空間と生活行為をつなげていく。

1K、1LDK、2DK といった間取り学習にもなる。

・時間があれば、その住まいに住んでいる人数やその人の年齢や職業、趣味などを想定し、自分で間取りを考えてみると、より、住まいの役割や生活行為と空間のつながりについて認識できるようになる。

・ P61 安全な住まい方について考えてみよう！

・まず学習ノートを用いて、危険な場所(箇所)やけがの経験などを想起する。

危険な場所(箇所)	けがをしそうになった/けがをした経験
自分のことだけでなく、自分の家族や幼児や高齢者について想定させるとよい。	
危険箇所だけでなく、災害や防犯対策を考えるとよい。(間取り図があるとグループ内で発表しあった時に分かりやすい。)	

・危険箇所やけがをしそうになった経験を間取り図で確かめてから、ユニバーサルデザインについてより深く学ぶ

ユニバーサルデザイン7原則

- 1 だれでも公平に利用できること
- 2 使う上で自由度が高いこと
- 3 使い方が簡単ですぐわかること
- 4 必要な情報がすぐ理解できること
- 5 失敗や危険につながらないデザインであること
- 6 無理な姿勢をとることなく、少ない力で楽に使えること
- 7 アクセスしやすいスペースと大きさが確保されていること

(アメリカのノースカロライナ州立大学の教授 ロナルド・メイス氏が1985年に提唱した概念)

・この7原則をもとに、どう改善していくことができるか考えあう。自分の家庭内で実践できるとよい。

P. 63 快適な住まい方について考えてみよう！

・健康で快適な室内環境の整え方を学習ノートで学んだ上で、明るさ・温度・湿度・音 に分けて、自分の家で実践していることを書いてみる。

	自分の家で実践していることを書いてみよう。
明るさ	(例)使わない電気はこまめに消している。 (例)緑のカーテンをつくって日差しをさえぎる。
温度	(例)冷暖房の温度設定に気を配る。 (例)カーペットやカーテンをつかっている。
湿度	(例)加湿器、除湿器を上手につかう。
音	(例)音や振動を出す家電製品は壁から話して設置する

・発表しあい、自分の周りや家でできることを考える。そのことを生かして、自分の家の室内環境改善や掃除レポートを書き、生活での実践につなげていく。